

住んでみたい 住み続けたい やまつり町

2012  
2月号  
No.611

広報

小さくても輝く町

# やまつり

- 消防団出初め式・手づくり絵本コンクール・成人式・タウンニュース・・・P2～P9
- 役場仕事始め式・町の資産公表バランスシート・・・P10～P14
- わが家のイチおし・文化スポーツ団体紹介・成人の主張紹介・他・・・P15～P17
- はつらつ健康・すくすく満1歳・短歌・タウンピックアップ・・・P18～P21
- 情報局・・・P22～P23
- 議会だより・・・P24～P31
- 情報カレンダー・・・P32

絆から笑みが生まれる

東館幼稚園「団子さし」会場にて



# 更なる無火災を誓う

## 矢祭町消防団出初め式

矢祭町消防団(鈴木桂語団長以下団員326名)の平成24年出初め式が、1月4日午前10時から東館小学校校庭にて厳粛に挙行されました。

まず、団員、役場消防隊員とポンプ車4台・積載車14台が、矢祭中学校校庭に集合・整列を完了すると、直ちに町内行進を開始。先導のラップパ隊に続き、統監を先頭とする本団・分団の隊列が国道118号を威風堂々と行進し、沿道で見守る多くの住民や行き交う車輛のドライバーに無火災を訴えました。

出初め式は、国旗掲揚、無火災祈願の黙祷をささげた後、鈴木団長が「地域ぐるみの防火活動の充実に向け、一致団結し、郷土愛護の精神を忘れず献身的な努力を払い、使命達成にまい進することを団員諸君とともにここに誓う」と式辞を述べ、統監の町長が「団員諸君には夜警等を通じ、尚一層の予防消防活動を強くお願いする。団長を中心に団員自らが英知を結集して消防の使命を理解いただき、町民の負託に応えるべく一層の精進を切望する」と挨拶を行いました。そして直ちに検閲隊形がとられ、統監・団長・来賓による閲団・通常点検が行われました。

その後閉会式に移り、まず福島県消防協会定例表彰の精勤章と勤続章の伝達が行われ、次に優良分団と優良団員の表彰、そして退職団員への感謝状贈呈が行われ、長年の消防団活動に対する榮譽を称えました。

続いて、来賓の立原龍一県議会議員、富永盛彦議長、棚倉警察署長代理の菅野交通課長、白河地方広域市町村圏消防本部長代理の深谷良太郎棚倉消防署次長から祝辞が述べられ、来賓紹介、祝電披露が行われました。そして受賞者を代表し、富永良一第2分団長が謝辞を述べて、平成24年出初め式が滞りなく閉式となりました。



国道を威風堂々と行進



整然と並ぶ団員



統監による通常点検



式辞を述べる団長



挨拶する統監

### 福島県消防協会定例表彰伝達

- 精勤章**  
第4分団副分団長 熊田伸隆 第2分団部長 佐川嘉紀
- 勤続章**  
第1分団分団長 鈴木良則 第2分団分団長 富永良一  
第2分団第7班団員 寺島春雄
- 矢祭町消防団優良分団表彰**  
第2分団分団長 富永良一
- 優良団員表彰**  
第3分団第9班第1班長 本田孝志、第4分団第13班第1班長 菊池雄市、第1分団第1班団員 星正綱、第1分団第4班団員 佐川秀和、第2分団第8班団員 寺島英明

### 退職団員感謝状

- 菊池敏晴(第1班第1班長)、八幡大介(第1班第2班長)、坪 史明(第2班元第1班長)、片野仁一(第3班元第2班長)、古市 賢(第3班元第1班長)、窪谷高真(第4班元第1班長)、藤田伸司(第4班元第1班長)、金澤佳男(第5班元第1班長)、立花 勲(第5班元第2班長)、近藤義雄(第5班元第2班長)、金澤 諭(第8班元第1班長)、高澤雅史(第9班元第2班長)、古張裕一(第9班元第1班長)、石井好美(第10班元第2班長)、鈴木和彦(第15班元第2班長)



謝辞を述べる富永分団長



優良団員表彰



優良分団表彰

平成24年1月末現在、矢祭町の建物全焼無火災は1、654日で更新中です。



## 第3回矢祭町もったいない図書館手づくり絵本コンクール表彰式



家族の部最優秀賞の高垣さん親子



特別賞の青木実さん



一般の部最優秀賞の佐々木香織さん



子ども司書受講生による朗読



謝辞を述べる高垣さん親子



佐野さんから図書の寄付



静かに語る柳田先生



にこやかなあべ先生

柳田先生とあべ先生による「いのち・こころ・きずな」をテーマに対談&ふれあいトーク



入賞者による記念撮影

# 定着してきた「読書の街づくり」

## 第3回手づくり絵本コンクール表彰式

12月18日、矢祭町子ども読書の街づくり推進会議がユール矢祭で開催され、多くの関係者と来賓、そして平成大学生が出席いたしました。

会議は、矢祭男女混声合唱団の華麗な歌声で始まり、矢祭町子ども読書の街づくり推進会議の富永盛彦委員長のことばで開会。主催者の町長が「矢祭町は全国に先駆けて、手づくり絵本コンクールを開催し3年目を迎えた。全国から素晴らしい絵本の応募が多数あり、心から感謝したい。今年は東日本大震災でたいへんな年だが、幸い本町は被害が少なく例年通り行事が出来ることはありがたい」と挨拶を述べました。その後、もったいない図書館の支援者である佐野茂さん（東京都）から、町内小学校ともったいない図書館の支館本文庫に図書の寄付があり、それぞれの代表者に贈呈されました。

続いて、第3回矢祭町もったいない図書館手づくり絵本コンクール表彰式が行われ、一般の部入賞者7名と特別賞1名、家族の部入賞8家族を表彰し、審査委員長の柳田邦男先生から一作品ごとに丁寧な選評が行われました。そして最優秀作品の一般の部「かげねこ」家族の部「つながるつながる」が、矢祭町子ども司書受講生により映像とともに朗読され、手づくり絵本の質の高さを出席者にアピールしました。終わりに最優秀賞受賞者の佐々木香織さんと高垣美和子さん親子から謝辞が述べられ、表彰式を閉じました。

次にノンフィクション作家柳田邦男先生と絵本作家あべ弘士先生による「いのち・こころ・きずな」をテーマとした対談とふれあいトークが行われました。そして最後に矢祭町子ども読書の街づくり推進会議佐川正一郎副委員長のことばで閉会すると、会場では柳田邦男先生の本の即売会とサイン会が行われ、終始なごやかな雰囲気の中で幕を閉じました。



作品を鑑賞する出席者



会場のようす



# 矢祭町成人式 厳粛に挙行

## 95名の新成人が誕生

1月8日(日)午前10時からユーパル矢祭で、平成24年矢祭町成人式が挙行され、新成人者95名(男50名・女45名)が晴れて大人の仲間入りを果たしました。

式は、成人式実行委員会石井祐一郎副委員長のことばで開式し、全員で国歌を斉唱した後、新成人者一人ひとりが呼名されました。呼名が終わると町長が代表の菊池和記さん(小田川)に成人証書を、鈴木知佳さん(下石井)に記念品を贈呈し、「長い人生には、多くの障害が立ちふさがることがあるが、悩みながら、苦しみながら、何事にも恐れることなく、夢と希望をもって前向きに生きていただきたい」と式辞を述べました。



式辞を述べる町長



呼名される新成人者



誓いのことばを述べる藤井大地さん



代表の菊池和記さん・鈴木知佳さん

次に矢祭町教育委員会を代表し、金澤孝明委員長が挨拶、続いて来賓の富永盛彦議長が祝辞を述べました。

これに対し、新成人者を代表して藤井大地さん(戸塚)が「矢祭町に生まれたことを誇りとし、矢祭町の発展に多少なりとも貢献できますよう、鋭意努力を重ねてまいります」と誓いのことばを述べ、増子弘晃さん(茗荷)と齊藤里佳さん(下石井)が成人の主張を行いました。主張が始まると新成人者はもちろん、来賓や詰めかけた家族の方々も、2人の思いや考えに静かに聞き入っていました。最後に成人式実行委員会石井美穂副委員長が閉式のことばを述べ、式のすべてを終了しました。

午後からは、成人式実行委員会(藤井大地委員長)主催による記念パーティーが開催され、中学校時代の恩師3人が招待されました。始めに藤井委員長が挨拶し、続いて恩師の先生方からお祝いのスピーチをいただき、全員で乾杯。久しぶりに再会した友との語らいや近況報告などがにぎやかに行われ、思い出に残る成人パーティーとなりました。



全員での記念撮影





商工会青年部からのプレゼント

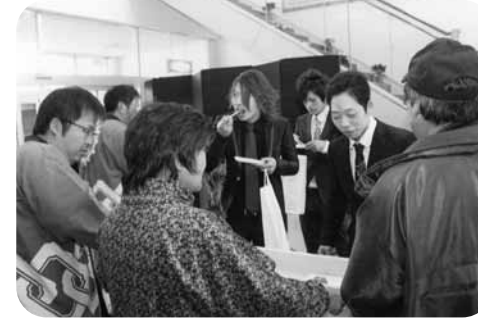
ユーパル矢祭の玄関ロビーでは、今年も商工会青年部員20名と女性部員3名により臼と杵で餅つきが行なわれ、つきあがった餅をくるみ入りのきな粉にまぶし、「祝い餅」として新成人者や来賓にふるまわれました。

祝い餅&夢メッセージ

さらに新成人者に未来の自分自身へのメッセージを贈り、10年後にそのメッセージを受取る「夢メッセージ」も企画され、新成人者は将来の自分や家族に向けてのメッセージを書き込んでいきました。



祝い餅を作る青年部員



祝い餅を味わう成人者



夢メッセージBOX



メッセージを託す成人者

ちょっとした配慮が事故防止に

小中学生の登校する時間は、出勤時間帯と重なり職場に急ぐ車が多く見られます。

そうした中、中石井のコンビニ前の歩道は車の出入りが激しく、通学班の目前を横切る車が多く、非常に危険なため、石井小学校の高崎校長が毎朝、交通指導に立っ



交通指導に立つ高崎校長

ています。児童の安全確保のためにとコンビニ入口に待機し、子どもたちに声をかけながら、全員が通過するまで交通整理をしています。ちょっとした配慮が事故防止につながります。

今が旬です「矢祭産いちご」

いまや冬場が旬となったいちご。矢祭町では16戸の農家と1農業生産法人が生産販売しています。主力品種は「とちおとめ」で、前年度の生産量は約170トン、販売額はおおよそ1億6千万円で主に関東方面に出荷しています。ハウス内の温度は、最低で8度、最高で30度以内を保ちながら栽培しており、農家にとっては冬場の貴重な収入源となっています。



ゴミの焼却は厳禁

"見つかんねげ かんまねえ"では困るんです

家庭から出るゴミ等の焼却は、一部の例外を除き禁止されています。庭先などでの焼却は禁止行為です。ゴミを燃やすことにより、悪臭や煙による近隣への迷惑、環境面でも身体に悪影響を及ぼすダイオキシン類などの有害物質が発生し、大気汚染につながります。また、火災の原因にもなります。法に違反して野外での焼却を行うと違反者には罰則が適用され、個人の場合で3年以下の懲役、若しくは300万円以下の罰金又はこの併科に処せられます。農業用ビニール類やタイヤ、産業廃棄物に当たる物の焼却は、さらに厳しく禁止されています。



警察署でも警戒パトロールを実施しています。町民福祉課・生活環境グループ 46-4574



# 公表します！町の資産



## 平成22年度バランスシートの概要

市町村合併をしない宣言以来、町民の皆さんに町の資産をご理解頂くため、13年度決算から、バランスシート及び行政コスト計算書を作成し、広報で公表しております。

2月号でバランスシート、3月号で行政コスト計算書についてお知らせします。



資産総額13,993百万円

=

負債4,584百万円+  
正味資産9,409百万円

### バランスシートとは

- ◆地方債(町の借金)において、どのような目的の施設が作られてきたのか、その価値はいくらか・・・などを知るためバランスシートが活用されます。
- ◆町が保有する資産・負債などを明らかにするものです。
- ◆町の財政状況を説明するため用いられている「地方財政状況調査」や「決算書」では、その年度の現金の出し入れや、年度末の保有財産・起債残高などしかわかりませんが、バランスシートでは町がこれまで整備してきた資産がどれだけ蓄積されてきたかがわかります。

### バランスシート作成手法など

- ◆このバランスシートは平成23年3月31日現在のものです。
- ◆昭和44年度から平成22年度までの数値(決算統計・決算書)を積み上げて作成しています。
- ◆対象となる会計は、一般会計となっています。
- ◆資産の部の有形固定資産については、平成22年度までに整備した学校や道路、その他の施設の残存価格(現在の資産価値)となっております。
- ◆有形固定資産の施設については年月とともに価値が下がりますので減価償却をしていますが、土地については減価償却していません。

# 平成24年矢祭町の幕開け 役場で仕事始め式

1月4日午前8時30分、消防団に入団している職員を除く全職員が役場大会議室に揃い、年頭の仕事始め式が行われました。

町長が「昨年の悪夢は福島県にとっては最悪の年となったが、幸い本町は最小限の被害に留まった。今年には穏やかで安寧な年であってほしいと願っている。矢祭町は現在、住宅全焼無火災記録が1,600日を過ぎ、交通事故死亡事故も1,100日以上続いており、町にとってはこの上ない喜びである。これひとえに職員の奮闘と町民の協力のたまものである。今年も、将来を担う子どもたちに万全の体制となるよう取り組み、幼稚園から中学校までの学校給食費の軽減、医療費無料など更に充実した施策を続けていく。今、町の財政はきわめて良好であり、無駄使いすることなく町づくりに還元していきたい。幼保小中一貫教育施設計画の実施にむけて、有利な補助金等を利用して、将来に向けて安心して受けられる教育施設の建設に邁進していきたい。職員も町発展と町民の安心安全確保のためしっかりと対応し、この1年絶大な奮闘を祈念している」と訓示を行いました。



訓示を行う町長

式が終わると、職員は直ちに役場消防隊として消防団出初め式へと直行し、平成24年矢祭町役場業務がスタートしました。



訓示を受ける職員

# 平成22年度矢祭町普通会計バランスシート

平成23年 3月31日現在

(単位：千円)

借 方		貸 方	
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1)総務費	1,067,506	(1)地方債	3,523,818
(2)民生費	602,001	(2)債務負担行為	0
(3)衛生費	144,402	(3)退職給与引当金	709,286
(4)労働費	33,764		
(5)農林水産業費	2,317,455	固定負債合計	4,233,104
(6)商工費	2,069,916		
(7)土木費	1,514,697	2. 流動負債	
(8)消防費	180,436	(1)翌年度償還予定額	351,029
(9)教育費	3,247,799	(2)翌年度繰上充用金	0
(10)その他	42,577	流動負債合計	351,029
(うち土地)	2,701,671		
有形固定資産合計	11,220,553	負債合計	4,584,133
		<b>【正味資産の部】</b>	
2. 投資等		1. 国庫支出金	1,750,409
(1)投資及び出資金	43,030	2. 都道府県出資金	1,129,701
(2)貸付金	34,600	3. 一般財源等	6,528,404
(3)基金			
①特定目的基金	294,661	正味資産合計	9,408,514
②土地開発基金	99,706		
③定額運用基金	493		
基金計	394,860		
(4)退職手当組合積立金	-36,101		
投資等合計	436,389		
3. 流動資産			
(1)現金・預金			
①財政調整基金	1,833,710		
②減債基金	281,660		
③歳計現金	155,583		
現金・預金計	2,270,953		
(2)未収金			
①地方税	64,752		
②その他	0		
未収金計	64,752		
流動資産合計	2,335,705		
<b>資産合計</b>	<b>13,992,647</b>	<b>負債・正味資産合計</b>	<b>13,992,647</b>

「資産では、町民が負担してきた税金等、これまで収入した国庫・県支出金、町債等の運用形態が明らかになります。

有形固定資産には、道路、土地、建物などの施設整備に要した費用を目的別に分類し、原価償却を行い累計した数値、町の持つ施設の現在の資産価値が分かります。

有形固定資産は、資産全体の約80%を占めています。

財団法人等の諸団体への出資・出捐金の残高です。

「特定目的基金」は社会福祉の充実等特定の目的のために資金を積み立てる基金です。「定額運用基金」は特定の目的のために定額の資金を運用するための基金です。それぞれ預金や現物(牛)で管理・運営されています。

流動資産は容易に換金できる預金や現金、税金の未収金などです。

平成22年度末の財政調整基金残高は18億3千万円です。

これまでに資産取得の財源として町が借り入れた資金(町債)の未償還残高から、翌年度償還予定額を差し引いたものです。

年度末に全職員(一般会計)が普通退職したと想定した場合の退職金の所要額です。退職手当は実際には退職手当組合から支払われますので町に直接的には支払義務は生じません。

平成22年度末の町債残高は、3,874,847千円です。町債残高は、負債全体の84.5%を占めています。

将来の財政負担を示します。

これまでの資産形成の財源とした国や県からの負担金補助金、町民が負担した税金等で、既に支払い済で将来に負担のないお金です。



平成22年度の増減内容について

(単位：百万円)

	借方				貸方			
	資産の部				負債の部		正味資産	計
	有形資産	投資等	流動資産	計	固定負債	流動負債		
22年度	11,221	436	2,336	13,993	4,233	351	9,409	13,993
21年度	10,650	470	1,683	12,803	3,938	402	8,463	12,803
差引	571	▲ 34	653	1,190	295	▲ 51	946	1,190

1. 資産の部

・有形固定資産は571百万円の増となっています。これは21年度から22年度にかけて、国の交付金によるIP電話等のインフラ整備が進み、22年度に資産形成した額が原価償却による資産の減少より大きかったことによるものです。投資等は前年度同様退職手当組合積立金の額が、退職者の増により、マイナスに転じています。団塊の世代が退職し、今後は退職者の人数が緩やかになっていくため、増傾向に転じて行くかと思われます。流動資産は第4次総合計画に伴う各種施策のために、財政調整基金に積立を行ったことと、後年度負担が増加した際に、繰上償還等を見越して減債基金等に積立を行ったためです。近年数回にわたる繰上償還により、公債費比率は改善に向かっていますが、今後、総合政策による事業に係る起債額が増額し、比率が上がるようなことがあれば繰上償還も視野に入れていき、健全財政に努めます。

2. 負債の部

・固定負債は295百万円の増となっています。これは先に記述しました、国の交付金に係る各種事業にあてる補助財源として、起債の借入額が一時的に多くなったためです。対して流動負債は51百万円減少しています。これは償還済起債が増えたためです。また、翌年度支払期限が到来する負債に対して、その返済原資として1年以内に現金化できる資産が存在するかを判断するのが流動比率ですが、当町では流動資産が流動負債を上回っているため健全といえます。

3. 正味資産の部

・正味資産については、平成22年度までに行なった資産形成における国、県、町の負担を積み上げたものから償却した分を差し引いたものです。22年度は946百万円増加しています。これは交付金に絡む有形固定資産の増に伴うもので、大事なのは負債・正味資産全体における正味資産比率がどうなのかということですが、22年度の正味資産比率は1.1%増の67.2%となっています。

企業的には「合格」!

・企業では経営の安全性を示す基準として「自己資本比率」が使われますが、地方自治体には資本の考え方がないため正味資産9,409百万円が総資産13,993百万円に占める割合、「正味資産比率」を使います。具体的には、町の現在の資産を形成する際に現在までの世代で負担したものの（正味資産）が多いのか、それとも将来に渡って負担していくもの（負債）が多いのかを率で示したものです。本町の正味資産比率は67.2%となっており、基準は50%なので安全といえます。また、自主財源が少ない中で国や県などの有利な財源で形成したといえます。更には負債の中でも交付税に算入される後年度に負担のない起債（過疎・辺地債）が半分以上あり、実質的な正味資産比率は80.0%を超えるものであり企業的には健全な財政といえます。



「家読でコミュニケーション」  
わが家のイチおし  
この一冊

— 矢祭もったいない図書館所蔵本から —

この本は消防車と救急車のお話です。はしご車のつぼくん、高圧車のぼんぶくん、救急車のいちもくさん、そして古いジープを改良したちびっ子消防車じぶたが出てきます。じぶたは、火事があったりもなかなか出動がなくて活躍できません。いつも注目されるのは他の3台で、うらやましくて仕方ありません。

ある日、山小屋で火事があり、道もせまくはしご車は届かず、じぶたが出動し大活躍。次の日、新聞に載りじぶたは一躍有名に。子どもたちは指をさして、じぶたに注目するようになりまし。私も子どもたちも「何でもがんばろう」と思える本です。ぜひ読んで力をもらってください。

今回、読んだ本は「たまごにいちちゃん」という本です。たまごにいちちゃんはとても甘えん坊で、お母さんにわとりにつまみも温めてほしくて、ずっと卵の殻を被ったままでした。しかし、いろいろな経験をして最後には殻が割れてしまいます。たまごにいちちゃんは殻がなくなってしまうというお話です。子どもたちも「いつまでも赤ちゃんなのままじゃなくて、大きくなれてよかったですね」と話し、ほっとできる一冊です。ぜひ、読んでみてください。

今回、読んだ本は「たまごにいちちゃん」という本です。たまごにいちちゃんはとても甘えん坊で、お母さんにわとりにつまみも温めてほしくて、ずっと卵の殻を被ったままでした。しかし、いろいろな経験をして最後には殻が割れてしまいます。たまごにいちちゃんは殻がなくなってしまうというお話です。子どもたちも「いつまでも赤ちゃんなのままじゃなくて、大きくなれてよかったですね」と話し、ほっとできる一冊です。ぜひ、読んでみてください。



矢祭もったいない図書館利用者

鈴木 亜美さん  
あゆみさん  
あゆみさん  
あゆみさん  
あゆみさん  
あゆみさん  
あゆみさん  
あゆみさん



矢祭もったいない図書館利用者

古市 真智子さん  
まこさん  
まこさん  
まこさん  
まこさん  
まこさん  
まこさん  
まこさん

やまつりの「文化・スポーツ団体」紹介コーナー⑬

インディアカチーム「キャッツ」

◇代表者 齊藤秀男 会員数15名  
◇平成20年設立  
◇団体紹介

20代の若者から中高年まで男女を問わず、幅広い年齢層で活動しているインディアカチームです。インディアカとは、赤い羽根の付いたシャトルコック状のボールを、ネットを挟んだ2チームが互いに手で打ち合う団体競技です。普段はソフトボールやバレーボールで汗を流しているメンバーが集まり、郡大会や県南・県中大会にも出場し、楽しく交流しています。

今の時期は毎週火曜日と金曜日の午後8時から体育センターで練習していますので、一緒にやってみませんか。



矢祭書道会

◇代表者 小野 博 会員数 12名  
◇団体紹介

矢祭村長だった故高信正明氏が公民館長に就いた際、書の大家矢部文雄先生を教師に、現在の商工会2階で毎週夜間、趣味愛好の志に書道稽古を始めました。生徒に金澤多蔵氏、小室守正氏、鈴木亀雄氏、落合マサノ氏、井坂峯二氏、菊池彦四郎氏、高信親光氏、木村忠瑛氏、下重信春氏、他。木村、下重両氏は既に臥龍会師範に在位し、親光氏は北関書道会上位高段者でした。

時過ぎて、臥龍誌を手本とし高信館長を初代会長に矢祭書道会を発足。二代目に高信親光氏、三代目に高信秀勝氏、そして現在小野博が務めています。役場門柱の矢祭町役場石文字は当時教育長だった金澤多蔵氏の漢書中学校玄関脇にある石碑「創造」は木村忠瑛氏の漢書です。





# 「成人の主張」をご紹介します

## 「成人になって」



増子 弘 晃さん

本日、今まで私たちを温かい眼差しで見守ってくださった地域の方々、教え導いてくれた先生方、そしていつも見守り支えてくれた両親へ、深く感謝を申し上げます。

私は現在、大学でスポーツについて学んでいます。友人の中にはすでに社会に出て、その一員として活躍している人が多い中で、自分は学生という身分でこの歳を迎えました。正直、二十歳になったという自覚はありませんが、これからは成人になったという意味をしっかりと持って、これをきちんと自覚し、一人の人間として頑張っていきたいと思っています。

さて、昨年は東日本大震災ということで福島県は多大な被害を受け、僕自身もボランティアとして被災地に行ってきましたが、とても悲惨な状態で現実の出来事とは思えませんでした。そうした中で逆境に負けることなく、日本全国が一致団結してこの大きな危機を乗り越えることが出来ました。やはり、この震災を体験しこれから起こりうる出来事すべてにおいて、その一つひとつが一人の人間の力だけでなく、周囲の人たちの協力や支援があることで成立するものだと考えました。他人への感謝の気持ちを忘れることなく、他人を思いやる気持ちをこれからも持ち続けていきたいと思っています。

まだまだ未熟な私ですが、今の自分に満足することなく、常に上を目指し、何事にも挑戦し、失敗を恐れず、多くの経験をして社会に貢献していきたいのも、一生の宝になるんだと思います。

二十歳を迎えた今、自分が決して一人ではなく、出会った多くの人に支えられているという事に気づくことが出来たのです。これはきっとこれから「ノルウェイの森」で「死は生と対極ではなく、生の中にある」という死生観を村上春樹は語りました。去年の3月11日、地震と津波により多くの生きられた命が奪われ、福島も原発という問題と対面することになりました。それはあまりに突発の出来事でした。死が実はその特別なものではなかったこと、家族や友達との絆が当たり前のものではなくて、こうして今繋がっていること自体が奇跡なんだと、今回の震災を通して思いました。

震災後、東京に戻ると私の住んでいる地区の商店街では福島を応援する歌が毎日のように流れていました。住む場所が違って、みんながどこかで私の町を支えてくれているんだ。その時初めて、「絆」の言葉の意味を理解した気がしました。今日、私たちが生まれ育ったこの町で無事に成人を迎えることが、本当はどれほど素晴らしいことか。たくさんの人に支えられ、助けられて、福島がこの矢祭町があるのだと思いました。

私たちはこの町に恥じないように、日本中、世界中の人から贈られた心を返していけるような、本当の意味での心を持った大人になりたいと思います。最後になりましたが、本日このような式を設けて下さいました矢祭町に感謝の意を述べるとともに、この町の更なる発展を願って私の成人の主張とさせていただきます。

と思っています。最後になりますが、本日、成人式を挙行してくださいました矢祭町にお礼を述べるとともに、今ここで成人を迎えている皆さんが、なおいっそう輝いていけることを願って、私の成人の主張とさせていただきます。

## 「贈りあう心」



斎藤 里佳さん

今日こうして成人を迎えることを喜ばしく思うと同時に、これまで私たちをその優しさや厳しさで教え、導いてくださった先生方、地域の方々、そして家族に心からの感謝を申し上げます。

二十歳、あらゆる意味での子どもから大人への不安定な境目に私たちは、今立っています。この言葉は内部にさまざまなものを内包しており、私たちはどうやらそれら一つひとつを社会の中で、探していかなければならないようです。たくさんの権利や自由を手に入れた代わりに、いつも背後には責任や自覚がついてまわるようになり、時には大きな決断をせまられるようになりました。私は現在、大学で文学を学んでいます。さまざまな本を読む中で、二十歳が一つのテーマになっている村上春樹の「ノルウェイの森」に深く影響を受けました。二十歳になる人たちの複雑な気持ちの葛藤、つきまとう孤独。初めて読んだ時、まるで隠しておきたかった自分の感情を描き出されたように感じたのです。家族と離れ、一人で生活し始めた自分は、バイトや大学の授業の中でつまらない劣等感や矛盾した感情ばかり抱えていました。二十歳になることに何の魅力も感じることができず、それで自分の何が変わるのか考えたりもしました。こんな空虚な自分のまま、社会が求める大人になること

## 小正月行事「団子やっ」を楽しむ

1月12日に町保育所と東館幼稚園で、年中行事の「団子さし」が行われました。

団子さしは、以前はどここの家庭でも行われていた小正月（1月15日）の催しで、冬の幼い子どもたちの楽しみの一つでした。現在、家庭ではほとんど行われなくなり、保育所や幼稚園での体験行事だけとなってしまいました。このうち保育所では、子どもたちが本多所長から団子さしの云われについて話を聞いた後、早速、用意されたみず木に、色とりどりに丸められたもち米団子や折紙飾りを取り付け、貴重な小正月行事を楽しみました。

※団子さしには、「豊作祈願」「一家繁栄」「豊かな生活」の願いがこめられています。




保育所のように




東館幼稚園のように



さがわ とうま  
佐川 叶真 くん  
(2月22日生まれ・小田川)  
♥おめでとう。ニコニコ笑顔で家族の人気のとっくん。お姉ちゃんお兄ちゃんと仲良く大きく育ててね。(パパ・ママより)




すどう じん  
須藤 仁 くん  
(2月24日生まれ・内川)  
いつも可愛い、仁くん。パパとママの宝物だよ。これからもたくさん一緒に遊ぼうね。(パパ・ママより)




あくあく  
満1歳

お誕生日おめでとう!!

みどりかわ そうすけ  
緑川 宗佑 くん  
(2月7日生まれ・戸塚)  
宗佑の笑顔には家族みんながいつも元気をもらっているよ。これから元気いっぱい大きくなってね。(パパ・ママより)



さいとう かれん  
斉藤 華恋 ちゃん  
(2月23日生まれ・小田川)  
果物大好き華恋ちゃん。いつも可愛い笑顔ありがとう。これからも元気に育ててね♥(パパ・ママより)



# Health Check はつらつ健康

保健だより



## あなたの歯の寿命は？

平成23年8月の特定健診では、同時に歯科衛生士による歯科相談を実施しました。矢祭町の方の口の中は、どうだったのでしょうか？

### 残存歯は年齢と共に減少

表1が今回の相談に来所した方の現在歯数(自分の歯の数)です。

年齢区分	相談者総数(人)	現在歯数(人)		
		0本	1~19本	20本以上
39歳以下	21	0	0	21
40~49歳	27	1	4	22
50~59歳	78	2	9	67
60~69歳	158	7	43	108
70~79歳	202	31	90	81
80歳以上	89	35	38	16

平成17年厚生労働省「歯科疾患実態調査」によると、50歳前後から歯は急速に失われ、一人平均現在歯数は60代前半で約21本、70代後半では約10本まで減っています。

矢祭町でも、表のとおり全国と同じ状況です。

### なぜ歯を失いましたか？

相談時になぜ歯を失ったか質問しましたが、歯周病と答えた方は76人(13.2%)、むし歯は176人(30.6%)、歯周病とむし歯が17人(3.0%)、その他306人(53.2%)でした。半数以上の方は、原因がわからないうちに歯を失っていたようです。

歯科相談の参加者からは、もっと若いうちに気をつけていれば、歯を失わなかったかもしれないという声が聞かれました。  
自分の歯で食べる楽しみを味わうために、今日から歯の手入れをはじめましょう。

### 歯を失う原因は歯周病とむし歯

平成17年に行われた全国調査では、50歳前後から歯は急速に失われ、1人平均現在歯数は60代前半で約21本、70代後半になると約10本まで減っています。その原因の約9割がむし歯と歯周病で占められています。歯周病菌は、歯ぐきのできるプラーク(歯垢)の中にすみつきます。プラークを放置すると歯ぐきが歯からはがれて「歯周ポケット」ができます。そのままにしておくと、歯を支える骨が溶け出して、最悪の場合には歯が抜けてしまいます。

### 予防の決め手は定期健診と早期治療

歯の寿命は、毎日の手入れで延ばすことができます。大人は、治療済みの歯の詰め物やかぶせ物の境目から入り込んでいくむし歯に注意が必要です。見た目では気づきにくいので、気づいたときにはかなり進行していることがあります。また、「毎日きちんと歯みがきしている」人でも、みがき残しはあります。

このようなことに早く気づくために、定期的に検診を受けて歯石を除去したり、早期治療につとめたりしましょう。

## 俳句

ふきの芽俳句会

- 神の水ふくみて猛る初鴉からす
- 大枯野天空渡る月の影
- 灰色の美は夜半明けて初茜
- 初雀よちよち孫とにらめっこ
- 悴む手機器の指図に金卸す
- 屋敷神日だまるところ福寿草
- 食堂へ三度以外はこたつ入り
- セーターの編目編目に空っ風
- 呼込の媪の声や雪催ひ
- 初詣笠間稲荷に熊手買う
- あるがまま生きて今あり芽水仙
- 博多帯少し崩して初句会
- 藪入りや仕来たり守る棚の木偶で
- 命名の文字煌々と初日かな
- 里山のどの径来たり歳の神
- 惚けたき日や水漬けの寒蜆
- 鈴木 正則
- 鈴木 幸子
- 松本志津子
- 佐藤たつ江
- 蓮見 ふゆ
- 金沢 タツ
- 鈴木 良夫
- 石川 柳子



### 矢祭中の生徒ら 交通事故防止に「役

12月21日夕方、リオンドール矢祭店前の国道118号で「ライト早目点灯」運動が行われ、矢祭中学校安全委員会と生徒会役員18名、そして交通安全協会矢祭支部役員による啓発運動を展開

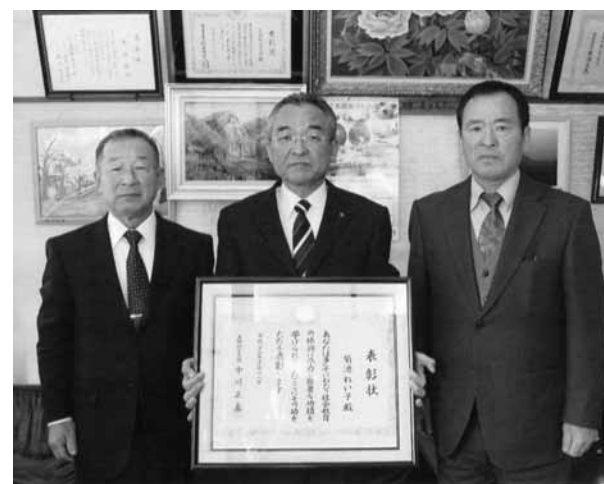
しました。  
開始前に、町長と渡部紅輝<sup>こうき</sup>警察署長から、啓発運動への協力御礼の挨拶が述べられると、早速、国道の上下線に分かれて、「ライト早目点灯」の看板文字を1文字ずつ持ち、通行車両のドライバーにライト早目点灯を促しました。「PM4ライオン運動展開中」夕暮れ4時には車のライトを点灯しましょう。



ライト早目点灯を促す中学生

### 菊池れい子さん 文部科学大臣表彰

このほど元矢祭町社会教育委員の菊池れい子さん(下石井)が、多年にわたり社会教育の振興に尽力し顕著な功績を挙げたとし、中川正春文部科学大臣から社会教育功労者として表彰されました。これを受け1月10日、本人に代わって長男で棚倉郵便局長の喜一郎さんが役場を訪れ、町長に受賞を報告しました。菊池さんは、昭和59年4月から平成12年3月までの16年間にわたり、社会教育委員として町の社会教育の振興に務めた他、町総合計画審議会委員やふるさと人づくり基金運営委員会委員などの要職を歴任されました。



受賞を報告した菊池さん(中央)

第2回介護予防歯つらつ栄養教室が、1月12日に町山村開発センターで開催され、8名の高齢者が参加しました。

### しっかりと介護予防に取り組む

栄養教室では、管理栄養士による「低栄養予防のための食事」と題した講話を聴講。次に歯科衛生士による口腔教室が行われ、「しっかりと噛んで、だ液を出そう」と題した講話を聴講し、口のマッサージ法とかむ力のテストが行われました。また「ボケ防止小唄」もみんなで歌い、参加者はしっかりと介護予防に取り組んでいました。



講話を聴く参加者

#### ☆しっかりとめると人生が豊かに

かむ力を維持していると、食物の栄養の吸収がよいだけでなく脳が活性化されたり、体力が高まったりします。からだの活力を取り戻すと気持ちも元気になる、生活に積極性が出てきたり表情も豊かになってきます。このように「かむ力」を保つことは介護予防につながるだけでなく、高齢者の生活の質を高める原動力となり、人生を豊かにするのです。

#### ☆かめないと生活の質が低下

かむ力の低下 ⇔ かめない ⇔ 柔らかい物しか食べなくなる  
低栄養・運動機能の低下・閉じこもり ⇒ 生きる意欲の低下 ⇒ 介護が必要な生活に!

### 不審者侵入時の避難訓練を実施

12月20日、矢祭町保育所(本多文字所長)で子どもと職員を対象とした、不審者侵入時の避難訓練が行われました。  
訓練は、不審者侵入時の安全な避難のしかたを身につけることと、先生の話をよく聞くことで身を守ることができるというねらいのもの



警察官の話を聞く子どもたち



不審者を防御する先生

と実施され、遊戯室に侵入した不審者を見つけた先生がホイッスルを大きく2回吹くと、保育室の鍵が一斉にかけられました。先生たちは子ども達の安全を確保するとともに、状況を察知しながら速やかに避難行動を執りました。  
また、不審者侵入時の職員の任務分担もマニュアルどおりに行われ、万が一に備えた意義ある訓練となりました。

### 交通安全テント村を開設

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動期間中の12月19日、矢祭町交通安全協議会(会長 町長)主催による交通安全テント村が、関岡字江戸塚地内の国道118号で行われました。  
テント村には、町、棚倉警察署、交通安全協会、交通安全母の会などから26名が参加し、下り車線を通行する車両を誘導し、ドライバーに啓発グッズを手渡しながら安全運転を呼びかけました。  
既にご承知のとおり毎月1日は、交通事故ゼロの日ですが、矢祭町は毎日ゼロの日であり、現在、交通事故死亡事故ゼロ日数を更新中です。



安全運転を呼びかける町長



開村式に臨む参加者



お願い

広報やまつりは、町からの情報はもちろん町内の催しなどを取材し、皆様にお知らせしています。取材の際には写真撮影や情報の聞き取りをして広報させていただいておられます。予めご理解とご協力をお願いいたします。

## 行事 & お知らせ

# 情報局

### 「全国一斉！法務局休日相談所」開設のお知らせ

福島地方法務局では行政サービスの一環として、2月12日(日)午前10時～午後3時まで、福島地方法務局ほか各支局で取り扱っている登記、戸籍、国籍、供託、人権擁護及び筆界特定などの各業務について、県民から気軽に相談いただけるよう「法務局休日相談所」を開設いたします。秘密は厳守します。

なお、併せて電話相談もお受けします。  
フリーダイヤル0120-227746  
(受付時間 午前9時から午後4時まで)

#### 相談内容

不動産・商業登記の手続き・土地の境界問題(含む筆界特定)・遺産相続、地代・家賃等の供託、戸籍・国籍、夫婦・家庭内の問題、成年後見、公証に関すること、お年寄り・子どもの虐待、いじめ・体罰問題、セクシュアル・ハラスメント、障害者の差別問題、風評被害による人権問題など

#### 担当者

法務局職員、司法書士、土地家屋調査士、公証人、人権擁護委員

#### 問

福島地方法務局総務課担当 由利まで  
TEL 024-534-1941

### 日本司法支援センター「法テラス」からのお知らせ

借金・離婚・相続・労働問題・犯罪被害・原発問題・震災関係などで困りの場合、まず法テラスへお問い合わせください。法テラスは国が設立した公的な法人ですので、安心してご利用できます。

法テラスサポートダイヤル 0570-078374  
受付時間 平日9時～21時 土曜日9時～17時  
日本司法支援センター  
福島地方事務所(法テラス福島)  
福島市北五老内7の5 イズム37ビル4階  
TEL 0503383-5540

### 税理士記念日 「税の無料相談会」のご案内

東北税理士会白河支部では、毎年、確定申告期に「税の無料相談会」を開催しています。予約不要で、年金の申告、給与所得者の還付申告のみの相談となります。

なお、会場にて電子申告も可能です。お気軽にご相談ください。

日時 2月23日(木) 午前10時～午後4時

会場 白河市産業プラザ・人材育成センター1階研修室  
(白河市中田140)

### 北方領土の日

毎年2月7日は、「北方領土の日」です。政府は、北方領土問題に対する国民の関心と理解を深め、全国に返還要求運動の輪を広げるため、昭和56年、閣議で「日魯通好条約」が結ばれた2月7日を「北方領土の日」とすることを決定しました。

択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島から成る北方四島は、歴史的に見ても、また、国際間の諸取り決めにも照らしても明らかに我が国固有の領土です。北方四島の日も早い返還を実現するために、国の外交交渉を後押ししましょう。

## 福島県文化財センター白河館「まほろん」行事案内

### 実技講座

2月25日(土)「ガラスと組紐のアクセサリをつくろう」  
組紐にガラス球をあしらって、素敵なアクセサリをつくりま  
す。  
☆材料費 500円  
☆参加対象 小学生以上(3年生以下は保護者同伴)  
☆募集人員 15名(先着順)  
☆募集締切 2月17日

### イベント

2月19日(日)午前10時から「まほろん冬まつり」  
・まほろん「もみぎり」ファイヤー・勾玉づくりセット抽選会・昔のお菓子づくり体験・時代衣装を着てみよう・昔の遊びに挑戦・紙かぶとづくり申込みは不要・無料です。お気軽にご参加ください。

### 文化財研修

2月12日(日)午後1時30分から「考古学と地域史研究(中通りの遺跡)」  
講師 柳沼賢治氏(郡山市・大安場史跡公園施設課長)  
☆参加対象 文化財担当者・一般の方  
☆募集人員 20名(先着順)  
☆募集締切 2月7日

2月25日(土)午後1時30分から「国指定史跡宮畑遺跡の整備」  
講師 斉藤義弘氏(福島市教育委員会文化課・埋蔵文化財係長)  
☆参加対象 文化財担当者・一般の方  
☆募集人員 20名(先着順)  
☆募集締切 2月17日

### 館長講演会

2月18日(土)午後1時30分～3時30分  
「歴史は知恵の森～日本における世界遺産の現状～」  
講師 菊池徹男館長

### 体験活動教室

1月31日(火)～2月12日(日) 組紐をつくろう 材料費100円  
2月14日(火)～26日(日) 和紙でつるし雛を折ろう 材料費100円  
お問合せは、「まほろん」担当 山岸まで TEL0248(21)0700 FAX0248(21)1075  
ホームページまほろん 検索

## 2月は『省エネルギー月間』です

国では、毎年2月を「省エネルギー月間」と定め、省エネルギーの意識啓発を図っています。限りあるエネルギー資源を大切にするとともに、地球温暖化を防止するため、私たち一人ひとりがエネルギーを大切に使うよう心がけましょう。

お願い1 冬の室内温度は、20℃以下に設定しましょう。  
お願い2 部屋のカーテンを閉め、暖かい空気が逃げないようにしましょう。  
お願い3 無駄な電気はこまめに消しましょう。  
お願い4 電気こたつの温度は低めに設定しましょう。  
お願い5 テレビもスイッチを切り、休ませましょう。

### 消防署から

#### 春季全国火災予防運動

3月1日～7日まで「消したはず 決めつけないで もう一度」を統一標語に、春季全国火災予防運動が実施されます。これからは風も強く、空気も乾燥して火災の発生しやすい季節となり、屋外でのたき火、タバコの投げ捨て等はいへん危険です。特に山火事の発生も多くなることから火の取り扱いに十分注意してください。一人ひとりが火災の予防に努め、火災のない安全で安心して暮らせる街にしましょう。

#### ◆矢祭町内の件数

・火災件数 1件  
・救急出動 239件  
(平成23年1月1日～12月31日現在)

今もむかしも火の用心  
あなたを守る

問 棚倉消防署矢祭分署  
TEL(46)2119

## 人の動き

1月24日現在の住民基本台帳より  
( )内は前月比

人口	6,470人	(- 8)
男	3,161人	(- 3)
女	3,309人	(- 5)
世帯	2,076世帯	(+ 2)

### ●1月中の動き

	男	女	計
◇転入	3人	5人	8人
◇転出	3人	5人	8人
◇出生	2人	3人	5人
◇死亡	7人	4人	11人

矢祭町役場電話番号表(0247)  
FAX 46-3155

課・グループ名	電話番号
自立総務課	
総務グループ	☎46-3131
企画財政グループ	☎46-4579
税務グループ	☎46-4572
町民福祉課	
健康グループ	☎46-4573
福祉グループ (介護保険)	☎46-4581
生活環境グループ	☎46-4574
町民グループ	
事業課	
事業グループ	☎46-4577
産業グループ (観光担当)	☎46-4576
F A X	☎46-4575
F A X	☎46-3025
議会事務局	☎46-4578
出納室	☎46-4571
山村開発センター	☎46-2097
中央公民館	☎46-2202
教育課	
学校教育グループ	☎46-4580
生涯学習グループ	☎46-2202 FAX兼用
F A X	☎46-3400

御用のある方は、各課の直通電話をご利用下さい

## 今月の納税

●後期高齢者医療保険料 7期

※口座振替日・納期限 2月28日(火)



# 議会だより

やまつり



## 一般会計補正予算 3億607万7千円追加 予算総額を 39億5,720万1千円に

### 第7回定例会 12月13日～16日

#### 13議案可決

12月定例会は、12月13日から16日までの4日間の会期中に開催され、初日は町長から提案理由の説明が行われ、続いて担当課長からの全議案の内容の説明がありました。  
2日目は、議案調査のため休会。  
3日目は、一般質問で、議員7名が登壇し町政に対して質問が行われました。

#### 報告

◇専決処分報告（議案第90号・議案第91号）  
緊急を要するため、地方自治法第179条第1項の規定により、止むを得ず専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により報告し承認を求めます。  
◎専決第13号 平成23年度矢祭町一般会計補正予算（第7号）  
9月21日の台風15号により被災を受けた農林業施設及び河川・町道等の公共土木施設の早期復旧を図るための費用が主な補正

#### 条例

◇矢祭町暴力団排除条例の制定（議案第92号）  
福島県暴力団排除条例の施行に伴い、県条例の効力が及ばない

#### その他

い暴力団の排除に関し基本理念を定め、町および町民等の責務を明らかにするとともに暴力団の排除に関する基本的施策、町の事務及び事業における措置等を定めることにより、暴力団の排除を推進し、町民の安全で平穏な生活を確保するために制定するものです。  
◇矢祭町職員給与に関する条例の一部を改正する条例（議案第93号）  
県の人事委員会は、国の人事院勧告に準じて50歳台に重点を置いた月例給与引下げ等の勧告が出されました。本町においても勧告どおり平成24年1月1日から実施するため、月例給与等を改正するものです。  
◇白河地方広域市町村圏整備組合規約の変更（議案第94号）  
平成24年3月31日をもって解散する西白河地方衛生処理組合一部事務組合及び白河地方水道用水供給企業団の共同処理事務を白河地方広域市町村圏整備組合が承継することに伴い、地方自治法第286条第1項の規定による同組合規約の変更に関する協議について同法第290条の規定により議会の議決を求め

#### 補正予算

◇平成23年度矢祭町一般会計補正予算（議案第95号）  
普通交付税の増、子ども手当の給付額の変更、住民基本台帳法の改正に伴うシステム改修、介護保険特別会計への繰入金、東日本大震災により殉職した消防団員に対する消防賞じゅつ金、町営運動場の夜間照明施設補強工事等が主な補正です。

#### 歳入補正の主なもの

◇平成23年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算（議案第96号）  
共同事業交付金、療養給付費交付金の減に伴う補正です。  
◇平成23年度矢祭町水道事業特別会計補正予算（議案第97号）  
簡易水道施設の落雷による修繕、追分地区配水池水位計交換工事、高野谷地地区水源改修調査委託等が主な補正です。  
◇平成23年度矢祭町介護保険特別会計補正予算（議案第98号）  
保険給付費、介護報酬改定に伴うシステム改修等の増加による補正です。  
◇平成23年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（議案第99号）  
毎月の被保険者の異動等による保険料の増減と保険料軽減額の確定による補正です。

#### 歳入補正の主なもの

◎地方交付税（普通）  
300,000千円追加  
◎寄付金  
・矢祭町ふるさとづくり寄付金等 3,931千円追加  
◎町債  
・臨時財政対策債 24,038千円追加

#### 歳出補正の主なもの

◎財政調整基金積立金 130,000千円追加  
◎減債基金積立金 100,000千円追加  
◎外国人住基法改正改修委託料 20,580千円追加  
◎介護保険特別会計繰出金 14,118千円追加  
◎子ども手当 21,635千円減額  
◎地震災害被災者住宅再建支援事業 4,000千円追加  
◎消防賞じゅつ金特別会計 8,022千円追加  
◎遺跡発掘調査委託料 2,133千円減額  
◎夜間照明施設改修工事 9,000千円追加

#### あなたから 請願

提出された請願は、所管の常任委員会に付託され、本会議において審査結果が報告されました。  
TPPへの参加反対の意見書を求める請願  
請願者 福島県南農民組合  
代表者 大竹 利男  
紹介議員 塚 豊明  
審査結果 採 択

#### 意見書を提出

◆TPPの参加に反対する意見書（発議第6号）  
◆公的年金の削減に反対する意見書（発議第7号）  
※12月定例会で可決した意見書2件は衆・参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、外務大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣に対し送付しました。

#### 議員提出案件

◆自主避難等に対する賠償指針に関する意見書（発議第5号）  
本会議で可決した意見書は内閣総理大臣、文部科学大臣、経済産業大臣へ、要請書は原子力損害賠償紛争審査会会長、原子力災害対策本部現地対策本部長、東日本大震災復興対策本部福島現地対策本部長に対して送付しました。  
自主避難等に対する賠償指針に関する意見書の要旨は下記のとおりです。

去る12月6日に文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会より自主避難者等への賠償指針が出されたが、その賠償対象が一部の市町村に限定されており、以前より強く求めていた県内全域を対象とする内容とは異なっており、全く納得がいくものではない。  
東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の被害は、県内全域におよび、風評被害・健康不安等大きな打撃を与え続けて県民は不安と失望と苛立ちを感じている。賠償指針の対象地域から外れた地域には自主避難者もいるが、18歳以下の子どもや妊婦、避難せずに生活を続けている人々が大勢いる。放射線に対する不安や影響は賠償指針の対象地域と全く同じ感情である。23市町村に限定する理由は見あたらない。福島県民の感情を全く無視した今回の賠償指針を次の事項を踏まえた指針に見直すよう強く要望する。  
1、23市町村に限定した賠償指針を撤回し、賠償の対象は福島県内全域とすること。  
2、賠償額は、実態に見合った額とすること。  
福島県矢祭町議会

#### 平成23年度各会計別予算補正状況

会計名		既定額	補正額	予算総額
一	一般会計	3,651,124	306,077	3,957,201
特別会計	国民健康保険	775,076	△ 6,575	768,501
	水道事業	136,978	1,944	138,922
	介護保険	512,902	15,133	528,035
	後期高齢者医療保険	124,946	△ 428	124,518

(単位：千円)



# 町の考えを問う (要旨)

12月定例議会の一般質問は15日午前10時から7議員より19項目の通告があり町政全般について執行部の考えを質しました。通告は左記の通りです。

訪れ、最後まで熱心に聴いていただきましてありがとうございます。議会は、誰でも自由に傍聴できますので、お気軽においでください。

## 7人が登壇(通告順)

- 1、金澤重光議員
  - (1) 個人住宅改良支援事業について
  - (2) 矢祭町木造住宅耐震診断者派遣事業について
  - (3) スインピア矢祭について
- 2、緑川進議員
  - (1) 平成23年度各種事業の進捗状況と税収の見通しについて
  - (2) 平成24年度予算編成の重点事業について
- 3、豊明議員
  - (1) 原発事故、放射能汚染について
  - (2) 教育環境の整備について
  - (3) 工事の発注について
- 4、佐川富夫議員
  - (1) 子育て支援について
  - (2) 消防団員の健康管理について
- 5、菊池保行議員
  - (1) 水防危険箇所の改良について
  - (2) 東橋上流の旧堰跡の西側法面崩落の補修改良について
  - (3) 女性消防隊の新設について
- 6、鈴木敏男議員
  - (1) 拙速すぎる教育村構想について
  - (2) 放射線測定値について
  - (3) 第1工業団地美幸プラスタック工場入口上りにバス停の設置について
- 7、鈴木一議員
  - (1) 環境放射線量対策(汚染マップ作成)について
  - (2) 学校給食用食材のモニタリングについて
  - (3) 林道整備(災害復旧)について

## 建設・一般行政



金澤重光議員

### 個人住宅改良支援事業の内容を伺う。

**質問**  
第四次総合計画生活基盤分野の主要事業に個人住宅改良工事費用に対し補助金を交付するとありますが、事業内容と予算の増額は考えているのか、お伺いします。

**答弁 町長**  
本年度から町内の施工業者により個人住宅の改良を行う町民に対して費用の一部を助成する内容で、50万円以上の工事を実施した場合に10%の補助で上限は10万円。本年度の実績は11月末現在で21件、補助金総額は189万6,000円。工事内容はダイニングキッチン、風呂、トイレの改修、太陽光発電設置などで工事金額総額で3,420万円となっております。

町内業者の育成と活性化を図るために検討して来年度の予算に反映させたいと思います。



### 木造住宅耐震診断者派遣事業の利用状況は。

**質問**  
23年度の利用状況と耐震診断は業者が行っているのか、1棟どのぐらいの経費がかかるのか、お伺いします。

**答弁 町長**  
この事業は昨年度から実施して、22年度が2戸、本年度も2戸の希望者がございます。

**答弁 事業課長**  
診断は福島県の建築士事務所協会に依頼をしております。昨年の実績は、1軒の民間住宅を耐震診断すると経費を含めて26万6,000円ぐらいです。

次年度は、広報やまつり、IP告知等を利用して募集いたします。

### 空き家と町営住宅の空き状況は。

**質問**  
町にはどのぐらい空き家がある、町営住宅はどのぐらい空いているのか、お伺いします。

**答弁 事業課長**  
震災に伴う避難者は、2世帯で5名の方が町営住宅に目的外使用で入居しております。町営住宅の空き状況は、12月現在で17戸、避難者を受け入れる態勢で目的外使用として、県に報告しているのは5戸です。空き家は、26戸以上あり貸してもいい家は5軒ありました。

### スインピア矢祭室内プールの進捗と再オープン

**質問**  
再オープンに向けて現在、改修工事が行われておりますが、進捗状況と運営内容をお伺いします。

**答弁 町長**  
工事の進捗率は約95%、あとは運転状況の確認が残っており、工事は完了しています。2月上旬ごろをめどに再オープンしたいと考えております。

## 一般・教育・建設行政



豊明議員

### 原発事故による損害賠償相談の窓口設置と放射能汚染について伺う。

**質問**  
「放射能測定を数多く町内各所でやって、結果を公表」「原発と賠償対策の窓口を」との住民の声が上がっています。放射能測定箇所を増やし、地図にして公表する必要があります。特に、子ども達の通学路、生活場所を優先して測定し、必要に応じて除染をすべきです。また、東京電力への損害賠償請求を支援する相談窓口をつくる必要があります。なお、矢祭町地震災害被災者住宅再建支援事業補助金申請期限を現行の平成23年12月27日を平成24年3月31日まで延期していただきたい。

**答弁 教育課長**  
通学路の放射線量の測定の結果は、9月に測定、今回12月7日にも同じ場所測定しました。が、各地点ともほぼ横ばいの数

値となっております。

**答弁 町長**  
損害賠償相談窓口は、事業課産業グループになっております。賠償問題につきましては、矢祭町での件数が30数人、10月に町で東電を呼びまして賠償問題の説明会には34、5人の方が参加されました。現在は、矢祭町・塙町両町の住民を対象に、月、火、水の週3日、塙町商工会が窓口になって、損害賠償の常設相談窓口を開いております。

### 教育環境の整備について伺う。

**質問**  
8月11日の議会全員協議会で教育村構想から11月28日の第1回検討委員会で「矢祭町文教施設一極化計画」と変更し新しい小学校を建設することを前提に進めています。全紙にも進めています。第4次矢祭町総合計画に沿って、小学校統合の検討を初めからすべきではないか。町長は9月定例議会で「議会の議決があっても議会の議決なしに変更できるものになっていません。」と答弁しております。議会の議決を執行すべき町長の判断で変更できるということになれば議会の存在はどうなるのか、変更できる根拠を示していただ

**運営内容は、9時半に開館して夜8時まで、3回の交代で入れ替えし、毎週水曜日を定休日、年末年始は12月29日から1月3日までを休館日、今までの料金体系を考えております。スイミングスクールはやらないで、一般町民には自由に泳いでもらう方向性で検討しております。**

## 一般行政



緑川進議員

### 平成23年度の各種土木事業の進捗状況と発注工事、税収の見通しについて伺う。

#### 質問

本町における原発事故の放射線量、汚染による除染、風評被害はどうなっているのか。今後どのような対策をとっていくのか。各種土木事業の進捗状況と今後発注工事があるのか。すべて年度内完成ができるのか。税収、徴収率の状況は、昨年と比較して増収か減収か、その要因は何か、年度末までの見通しについてお伺いします。

#### 答弁 町長

本町の放射線量は、役場付近で0・10マイクロシーベルトから0・11マイクロシーベルトが長い期間続いており、一般の生活には問題にならない値であります。風評被害は、福島というだけで一緒に考えられておられるの、全く見当つかない状況であります。主な土木工事ですが、中石井小野沢地区の前平遺跡の発掘調査配水管布設替工事(東館・戸塚地区)、町道小田川・矢祭中央団地線改良工事、道路災害復旧工事で矢祭ニュータウン線つじヶ丘1号・19号線は、工期内に完了予定です。今後の発注工事は、下石井地区の排水路整備事業、下関(第5班)駐車場整備事業、防火水槽設置事業は中石井舟見地内と下石井城主内地区、町道若宮・前ヶ作線改良工事、山野井西線、町道館本・唐目線、町道石田・上野内線を予定しております。税収ですが、22年度と比較しますと、2億1,299万7,000円増は法人税であります。本年の収納率は73・6%、滞納繰越分で5・5%、合計で69%、前年比較で0・1%の増となっております。決算見込みの収納率を22年度と比較すると、22年度の収納率が96・8%、滞納繰越分

で9・6%、合計で90・3%、現年課税分で98%、滞納繰越分で6・5%、合計で91・9%ぐらいの収納率を見込んでおります。

**平成24年度の重点事業と予算規模について伺う。**

**質問**  
町の活性化を図るためにも平成24年度予算編成はソフト面、ハード面、両面から積極的な編成が必要であります。予算編成に当たって重点事業は何を計画しているか。原発事故による除染、風評被害対策等は計画しているのかどうか。

**答弁 町長**  
来年度の重点事業は、町道山崎・頭屋線改良工事、合併浄化槽設置事業、消防車両の整備(第1班・東館)自動車ポンプを更新、水道の配水管布設替工事(戸塚地区、山下地区)、子どもセンター建設事業、矢祭中学校体育館の改修事業が主な事業であり、計画に沿って遂行してまいります。平成4年から来年度で約20年になる広域農道東白川2期地区が完成予定です。24年度の予算規模は、今年度並みと考えております。除染は、今、



きたい。

答弁 町長

東館小学校の現校舎の耐震工事をやりまして非常に環境の悪い校舎しかできません。少しでも子供たちに伸び伸びと良い環境で矢祭町の将来を任せられる子供たちを育てるには、新たな土地を求めて、新たな校舎をつくり、子供たちがしっかりと勉強できる環境をつくるのは我々行政の責任であると判断をしております。

答弁 自立総務課長

本年5月2日に地方自治法の一部を改正する法律が公布され、8月1日施行となっております。この改正の一部に市町村基本構想の作成義務の撤廃が盛り込まれ、変更については議会の議決を要しなくなりました。

### スインピア矢祭の工事発注について伺う。

質問

町民プール屋内プール補修工事の請負契約について、着工・平成23年6月28日、完成・平成23年12月22日と同一施設の工事を請負業者、入札執行日も同時なぜ、その1、その2に分割発注したのか、伺います。

答弁 町長

25メートルプールの温水プー

在も状況は変わっておりません。久慈川については関岡地区の飯野から天神沢、江戸塚、町の3地区、小田川は下関河内地内のトキノス、山下地区の関平、下河原の3地区であります。

再質問

8年前と同じということで、改良は進んでいない状況にあります。その原因はどういう点にあるのか、伺います。

答弁 町長

久慈川は、用地の協力が得られないのが最大のネックであります。小田川は、県との事業調整会議に堆積土砂の除去を要望しておりますが、県の予算にも限度があり回ってこないのが現状であります。堆積土砂の除去等も1河川で1カ所か2カ所程度の事業になっております。

### 久慈川東橋上流にある旧堰跡の左岸法面の崩落の補修について。

質問

数年前の洪水で石積み護岸が足元がえぐられ川にすり落ち、上部が開き陥没している状態にあります。西側3メートルには関岡地区の用水の幹線があり心配です。補修ができないか、お伺いします。

ルの工事ですが、プールを供用しながらできる工事と全面休止しないといけない工事に分けて、設計を委託しております。それぞれ別な時期に発注する予定でありましたが、物資の調達に時間がかかり工期内に終わらないので、設計を急がせて同時入札をしたわけでありました。たまたま同じ業者になっただけで何ら意図があったわけではありません。

### 一般・消防行政



佐川富夫議員

### 子育て支援について伺う。

質問

3・11東日本大震災と原発事故により乳幼児を持つ親御さんは、一時的にミルク、水が店になく、家族じゅうで手分けして探し求めたと聞きました。町と業者で協定等を結んでおれば、対応ができたのではないかと。子育て支援の一環として総合計画の中に盛り込めないのか、お伺いします。

答弁 町長

県の工事として取り上げてもらうのは難しいと判断しております。砕石等を空洞に入れて護岸の役目を果たしたいと思っております。

### 女性消防隊の新設について。

質問

町消防団は現在330名の体制で、日夜予防、消防、防犯等、地域住民の安全・安心のために活躍されております。団員の就労状態や過疎化、少子・高齢化等で団員不足に至る班があり、消防協力隊、役場消防隊の協力で対応しております。一案ですが、女性消防団員の入団や隊の新設も方法と考えられます。ひとり暮らしの高齢者宅の防火訪問や町民への防火教育など、女性団員の活躍が期待されると思えます。新設の考えがあるか、お伺いします。

答弁 町長

男女共同参画社会を迎え、女性でなければ見られない、きめ細かな目で消防行政、防火等に目を向けていただくのは非常にいいことだと思います。女性消防隊の募集を前向きに検討してまいりたいと思います。



答弁 町長

3月11日の東日本大震災は、矢祭町民にとりましてもパニックの起る大震災であり、物資の調達には多くの時間を費やしました。物資の調達ができる商店会や東白川地方町村会等とも相談し広域での検討もして、非常時には供給できる体制をとってまいりたいと思います。

### 消防団員の健康管理と台風15号の被害について伺う。

質問

9月に台風15号が発生し、消防団が出勤して被害を最小限に防ぐため、土のう積み、ポンプでの水払い、交通整理など、雨に濡れながら懸命に水防活動

### 一般・環境行政



鈴木敏男議員

### 拙速過ぎる教育村構想について伺う。

質問

検討委員会が発足されましたが、最初から先進地視察予定等建設委員会ではないのか、伺います。教育委員会からの進言書の内容をお聞きます。

### 進言書

教育村構想については、所管である教育委員会に提案がなされなかったことは、誠に残念なことで、今後このようなことがないようお願いいたします。  
町民の多くは、子どもセンターの早急な建設と小学校の統合を望んでいる。  
子どもセンターの早期着工と小学校統合に向けた新校舎建設に向け、速やかに統合委員会(仮称)を立ち上げ、ハード面・ソフト面同時に検討に入るべきことを進言する。

していただきました。団員の健康管理のため、全員に雨合羽を支給できないか、お伺いします。

答弁 町長

各班内を巡回しての被害状況報告、或いは大水により被害を最小限に防ぐために、団員の皆さんは身を粉にして頑張ってくださいました。感謝を申し上げます。雨合羽の支給ですが、24年度と25年度の2年間をかけて団員全員の雨合羽を用意したいと思えます。個人個人に支給するのではなく、各班員数だけ用意して次へ譲ってもらおう方向で検討しております。

質問

台風15号の被害状況と対応をお伺いします。

答弁 事業課長

台風15号の被害状況ですが、農地の田(水稲)が102ヘクタール冠水、金額は520万9,000円。野菜は、主にイチゴが約1ヘクタールで879万1,000円、合計1,400万程度が農作物に対する被害を集約しております。  
農地関係では11件、金額で1,100万円、石井堰は頭首工の取水堰の破損で今回提案し申請額は1,200万円、林道関係は、7カ所で申請額は合計で3,047万円、土木災は、

速やかに検討委員会を立ち上げて小学校統合に向けた新校舎建設に向けての進言でありますので、建設委員の皆さんに先達事例を見て、検討いただくため視察を計画しております。

質問

教育者として大変立派な活躍をされてきた前教育委員長の辞任をどのようにお考えですか、お伺いします。

答弁 町長

教育村構想実現のために頑張っていただけと思っております。一身上の都合と言われれば、これ以外の何物でもありませんので、お引きとめできませんでした。

質問

放射線測定値について。

質問

同じイノシシの肉を専門の民間業者に頼んで検査した結果、放射性セシウムが186ベクレル。現在、町で行われている機器では、32ベクレルでした。大学教授の見解は、民間が正しい、というような数値しか出ない機器で安全・安心ができるのか、お伺いします。

答弁 町長

町で使っている機械は、ドイツのベルトルドテクノロジ

河川6カ所、道路1カ所、合計7カ所で3,048万7,000円です。

再質問

河川の排水路が埋まり住民では取り切れない。また、江戸塚前の田んぼには人力でとれないほど根が入っております。町で対応できないか、お伺いします。

答弁 町長

町へ状況を報告していただいでから判断したいと思えます。

### 防災行政



菊池保行議員

### 水防危険箇所の改良について伺う。

質問

町内の水防危険箇所は現在何か所あるのか。8年前は5、6カ所と記憶をしておりますが、現在はどのようになっているのか、お伺いします。

答弁 町長

水防危険箇所は、重要水防区域に指定しており、8年前と現

社製のガンマスベクトルメータという機械であります。出荷時点で世界基準に準拠した線源による校正が行われており、校正証明書も発行して貰っております。同じ検体を町の機械、JAの機械を使い検査しましたが、矢祭町で1キロ当たり、469ベクレル、埴町では457ベクレル、JAの機械では432ベクレルでありました。同じ検体を使ってやっておりますので、この機械で十分町民の安全・安心は担保できると判断をしております。



▲ガンマスベクトロメータ

### 第1工業団入口にバス停の設置について。

質問

第1工業団地の上り車線にバス停を利用している方がおります。カーブの手前で、対向車



(大型)が来て、すれ違うときには本当に危険な状況にあります。バス停、街路灯をつければ危険は避けられるのではないかと考えますが、考えをお伺いします。

答弁 町長

ご指摘の美幸プラスチック下のバス停でありますが、確かに1人の方が利用しております。現在、緊急にできる対処法として反射材を差し上げて着用していただいております。バス停等については、地権者がございますから、当然将来に向けた検討課題であると思っております。

一般・教育・建設行政



鈴木 一議員

環境放射線量対策の環境である汚染マップの作成について。

質問

3月11日の東日本大震災から9カ月、東京電力福島第一原子力発電所の事故から放射線の不安は依然として高いものであり

ます。福島市大波地区では15件の農家の米から暫定基準を超える放射性セシウムが検出(550から1,270ベクレル)、伊達市小国地区、保原町、二本松市、旧渋川村でも検出されるなど、福島の米にとってはよくないことで風評を生み出すものになっていきます。

質問

福島県下の多くの子供が、見えない放射性物質にさらされ不安の毎日であります。子供たちに放射能物質の被曝で健康被害が出るか出ないか、明確な判断ができない現状であると思えます。無用な被曝を避けることは、子供たちの未来から不安を取り除くことでもあります。現在、山村開発センター内にある放射性物質濃度測定器ガンマスベクトロメータで給食用食材の検査をされておりますが、食材の測定検査結果は検出限界値の1キロ当たり20ベクレルに満たないのか、すべての食材を検査されているのか、伺います。

答弁 町長

矢祭町は本当に県内でも最も低いレベルの放射線量であります。農地の濃度はまだ数点しか検査しておりません。今回農事組合長にお願いして、現在50点から100点程度の土壌検査準備を進めているところであります。検査については、できる限り速やかに取りまとめをして、IPシステム、広報等を利用して、各地の土壌の汚染状況を公表してまいりたいと思っております。

学校給食用食材のモニタリングについて。

## 第1回臨時会

住宅再建支援事業費補助金など

一般会計55,706千円追加可決  
予算総額 40億12,907千円に

### 人事案件

○教育委員会委員の任命

教育委員に 佐川 正一郎氏

東館字桃木町27番地  
任期は平成24年1月27日から平成27年3月21日まで



任期は平成24年1月27日から平成27年3月21日まで

○教育委員会委員の任命

教育委員に 益子 敬氏

下関河内字トキノス11番地  
任期は平成24年1月27日から平成25年6月17日まで



任期は平成24年1月27日から平成25年6月17日まで

◎予備費 47,706千円追加

◎地震災害被災者住宅再建支援事業 8,000千円追加

### 歳出補正

◎地方交付税(普通) 55,706千円追加

### 歳入補正

◎平成23年度矢祭町一般会計補正予算第9号(議案第1号) 普通交付税の確定及び今回の東日本大震災により被災しました、住宅再建支援事業費補助金の増額が主な補正です。

### 補正予算

平成24年第1回矢祭町議会臨時会は、1月27日(金)午前10時に招集され、平成23年度矢祭町一般会計補正予算1件、人事案件2件が提案され、原案どおり可決・同意されました。

## 議会の動き

(主なもの)

★11月	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	4日 第16回矢祭ふれあい駅伝競走大会(スインピア矢祭周辺)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	5日 東白衛生組合定期監査(埴町)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	7日 議会運営委員会
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	9日 年末年始特別防犯・交通安全合同出動式(棚倉町)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	13日 第7回町議会定例会
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	13日 全員協議会・総務常任委員会・産業常任委員会
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	13日 臨時議長会(棚倉町)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	14日 矢祭町子ども読書の街づくり推進会議(ユーパル矢祭)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	18日 矢祭町子ども読書の街づくり推進会議(ユーパル矢祭)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	19日 東京電力福島原発事故に伴う賠償指針の見直しを求める議会議員緊急決起集会(白河市東文化センター)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	20日 例月出納検査
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	20日 福島原子力損害対策協議会及び県南・会津・南会津地方市町村等による国への緊急要望(東京都)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	22日 例月出納検査
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	22日 福島原子力損害対策協議会及び県南・会津・南会津地方市町村等による国への緊急要望(東京都)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	26日 原発事故に関する県知事等要望(福島市)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	26日 第4回白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	26日 生活発表会(東館幼稚園)
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	28日 矢祭町文教施設の一極化計画検討委員会
	1日 第3回組合議会臨時会及び全員協議会(白河市)	29日 新人議員研修会(福島市)
★12月		8日 平成24年矢祭町成人式(東館小学校校庭)
		4日 矢祭町消防団出初式(東館小学校校庭)
		4日 矢祭町消防団出初式(東館小学校校庭)
		26日 例月出納検査
		26日 原発事故に関する県知事等要望(福島市)
		26日 第4回白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)
		26日 生活発表会(東館幼稚園)
		28日 矢祭町文教施設の一極化計画検討委員会
		29日 新人議員研修会(福島市)
		29日 新人議員研修会(福島市)

## 林道整備、災害復旧について伺う。

質問

3・11の大地震と台風15号の豪雨等で林道の一部に路肩の崩壊や凹凸が非常に多いのが目立ちます。その中の林道金澤・入宝坂線があります。入宝坂からはゲートがあり通行止め、金澤入口は道路の凹凸と路肩の損壊があり、林道の再点検と整備が必要だと思えます。考えをお伺いします。

答弁 町長

現在、林道は43路線、総延長97,390メートルを管理しております。各路線ごとに林道愛護組合を組織していただき通常の維持管理をお願いしております。林業の低迷、林道愛護団体の高齢化等により全路線を維持するのは難しい状況になってきております。林道金澤・入宝坂線ですが、林道愛護組合がありますけれども、近年は全く活動がなされておらずに木が繁茂して、軽トラックでも通るのが容易ではない状態です。個人の財産の管理道路であることも念頭に置いていただいて、ボランティアの精神で愛護活動をしていただきたいと思います。

## 議会を傍聴しましょう

傍聴人心得

- 一、議員の言論に対し批判し又は賛否を表明してはならない。
- 一、喧騒により議事を妨害してはならない。
- 一、帽子類を着用しないこと。
- 一、かさ、杖、防類を携帯しないこと。
- 一、飲食又は喫煙をしないこと。
- 一、新聞紙等は閲覧しないこと。



## みなさんの町政です!!

開かれた議会を目指し、公開をしていますので、議会を傍聴してみませんか。

次の定例議会は3月です。

※定例会、臨時会の内容を知らたい方は、もったいない図書館に「矢祭町議会会議録」がありますので、ご覧ください。





## 今月のこの1枚

成人式会場での1コマ。わが子の晴れ姿を写真に収めようとシャッターを切る大勢のお母さんたち。  
二十歳を迎えたわが子を見て感慨もひとしお。親としての卒業はまだまだ先のようですね。

情報カレンダー  
**2** 2012  
**3** 3月

[略称] 当…当番医 山開…山村開発センター 塙…塙厚生病院

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日
◎ 大木医院33-2424		● 愛の献血 ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	● カンガルーくらぶ	● 母親教室 塙(13:30~15:30)	 ● カンガルーくらぶ	◎ 金澤医院46-2312
12	13	14 聖バレンタインデー	15 シルバー交通安全の日	16	17	18
◎ 東白川中央病院33-3263	● 4か月児健診・BCG接種 塙(13:30~13:40)	● 元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	 ● カンガルーくらぶ	● 母親教室 塙(13:30~15:30)	● カンガルーくらぶ	
19 雨水 交通安全話し合いの日	20	21	22	23	24	25
◎ おおひら整形外科33-9468	● 心の健康相談会 山開(10:00~16:00) ● 親子ピクス 山開(10:30~11:30) ● カンガルーくらぶ	● 運動教室 山開(10:00~11:00)	 ● カンガルーくらぶ	● 踏切事故防止の日 ● カンガルーくらぶ		
26	27	28	29	3/1	2	3
◎ 塙厚生病院43-1145		● 元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	● カンガルーくらぶ	交通事故ゼロ・歩行者優先の日 春季全国火災予防運動~7日 ● 3歳児健診 山開(受付13:00~13:15) ● 母親教室 塙(13:30~15:30) ● カンガルーくらぶ	● カンガルーくらぶ	
4	5	6	7	8	9	10
 ◎ 木村医院46-3528	● 親子ピクス 山開(10:30~11:30) ● カンガルーくらぶ	● 運動教室 山開(10:00~11:00)	 ● カンガルーくらぶ	● 6ヶ月児・11ヶ月児健康相談 山開(13:15~13:30) ● 母親教室 塙(13:30~15:30) ● カンガルーくらぶ	● カンガルーくらぶ	

あ・と・が・き  
◇2月4日は二十四節気の立春。「春」の出、日の入り時間ともなってきました。◇1年。◇東日本大震災の発生から訪れるよう願うばかりです。(青砥)

赤ちゃん誕生おめでとう	おくやみ申し上げます	亡くなられた方
赤ちゃんの名前	おくやみ申し上げます	亡くなられた方
誕生日		年齢
保護者		届出者
地区		没日
		地
		区

本誌に掲載の写真は進呈しますので、ご希望の方は自立総務課までご連絡ください。